

新着図書から

【一般書】▼いつも彼らはどこかに／小川洋子／新潮社▼五郎丸日記／小松成美／実業之日本社▼定年するあなたへ／佐々木常夫／サンマーク出版▼ノボさん上・下／伊集院静／講談社▼無国籍の日本人／井戸まさえ／集英社▼孫と私の小さな歴史／佐藤愛子／文藝春秋▼野球の国のアリス／北村薫／講談社 【児童書】▼動物たちからのプレゼント／高橋うらら／集英社▼まめまきバス／藤本ともひこ／鈴木出版▼ものしりチャンピオン1000問春・夏・秋・冬／くもん出版▼わたしのいえ／カーソン・エリス／偕成社



よくよむ  
☎029-289-4946

パソコン・携帯から蔵書検索・予約できます

PC <http://lib.town.shirosato.ibaraki.jp>

携帯 <http://lib.town.shirosato.ibaraki.jp/mobile/>

携帯用QRコード



カレンダー 5・6月

日	月	火	水	木	金	土
5/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	6/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

火～金 10:00～18:00  
土・日・祝 10:00～17:00

■休館日  
○おはなし会 11:00から



著 柏井 壽

父と食べた料亭のかけ蕎麦。思い出の味を再現してくれる不思議な食堂へようこそ。

大嵐で甚大な被害を受けた旅宿「かわせみ」の女主人のいたちが、お伊勢まいりに出かけた。のどかな街道風景を眺めながら慣れない旅を続けるが、次々と怪事件が起こり。



著 平岩 弓枝

★新刊案内★  
○お伊勢まいり

女の子が、お友だちの家に「あーそーぼ」と誘いに行く、みんなご飯やお掃除、お風呂の真つ最中。そこで女の子は…。わらべ歌「ひとやまこえて」から生まれた、言葉のかけ合いが楽しい絵本。



作 やぎゆう まちこ

★新刊案内(児童書)★  
○あーそーぼ  
麦、親友の母がふるまってくれたオムライス…。食が呼び覚ます温かな記憶にふれ、人は明日への一歩を踏み出していく。ハートフルストーリー第3弾。

城里町の文化財さんぽ(二)

町指定文化財(史跡)

「赤沢江跡」

あかさわえあと  
指定年月日／昭和四十九年四月二〇日  
所在地／城里町内 管理／城里町



▲赤沢江跡の桜並木(那珂西地区)

「赤沢江」は、辰ノ口堰や小場江堰と同様に、水戸藩初代藩主徳川頼房の命により建設された江戸時代初期の農業用水路です。工事奉行は、望月五郎佐衛門と長谷川五太夫。測量には久慈郡菜谷村(常陸太田市)の永田茂衛門・勘衛門親子が起用され、慶安三年(一六五〇)に着工し、明暦二年(一六五六)に完成しました。流路は、旧赤沢村(現大字御前山)



▲赤沢江取水口(御前山地区)

の御前山山裾に隧道を穿って那珂川からの取水口とし、そこから阿波山↓北方台地の東崖下↓石塚の風隼神社の崖下↓上泉↓那珂西台地の東崖下を流下し、水戸市飯富の台地下に達するもので、全長は、四里二〇余町(約一八キロメートル)とされています。「赤沢江」の完成により流域十数か村は干ばつの被害を免れ収獲高も増加したかと思われませんが、宝暦七年(一七五七)の那珂川洪水により大きく破損し、以後用水路としての機能をほとんど失ってしまいました。現在では流路の大半が埋没し、断続的に残る水路跡のみが往時の流勢を物語っています。

問合せ 教育委員会事務局

029-288-3135